

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	cocoro			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域のパーソナルジムにご協力いただいたのボディトレーニングや、工務店にご協力いただいたのDIY、講師をお招きしてのフラワーアレンジメントやアロマキャンドル作り等、日常生活では得ることが難しい体験を通じて個性を見出すことが出来る。	専門的に携わっている方に教わりながら質の高い体験を得ると共に、普段関わることの無い人との関わりを持つことでソーシャルスキルの向上にも繋げられるよう取り組んでいる。	SNS等を活用して、より地域との繋がりの強化を図る。
2	子ども一人ひとりの課題や保護者のニードに合わせ、個別での活動のみならず、集団での活動や遊びを通じて楽しみながら成長することが出来る。	個別、集団活動共に子どもが飽きる事なく楽しく取り組めることを意識し、職員同士で話し合いながらプログラムを作成している。	保護者のご意見や他施設の活動を参考にしながらプログラムの充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関（支援学校や保育園や他施設、医療機関等）との連携が希薄であること	情報連携に対する意識や行動が不足している	情報連携に対する意識を高め、支援学校や保育園と情報連携を取りながら、課題の解決へ向けて取り組んでいく。
2	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは作成しており、定期的な訓練も行っているが、実際の緊急事態が起こった際にスムーズな対応が出来ない恐れがあること	マニュアルのみだと情報過多になってしまい、実際の対応時にそぐわない恐れがある	より手順を分かりやすくしたフローチャートの整備や、訓練を行っていく。